

“おおだ”の魅力を体験!

# 田舎体験ツアー

6:50	広島駅出発
10:00	子ご美の里着
10:20	こんにやく作り
12:00	昼食交流
13:00	田植え体験
15:20	子ご美の里発
18:40	広島駅到着

5月2日(日)、山口町佐津目の『子ご美の里』で田舎体験ツアーを開催いたしました。  
当日は、広島から11組24人の皆さんが参加され、抜けるような青空の下、こんにやく作りと田植えを体験しました。



## 大田市へようこそ

この田舎体験ツアーは、都市に暮らす皆さんに大田市の豊かな自然や田舎暮らしの魅力伝えることで、参加者に大田のファンになっていただき、交流人口の拡大を目指し、ひいては定住促進に繋げていく目的で開催しました。  
当日は、山口町で田舎ツアーを進める「子ご美会」(矢田千里代表)と定住人口の増加を進めるグループ「石見織人こむしこむさ」(中島浩司代表)の協力により、大田市が今回初めて実施したものです。  
市では、今後もこのような取り組みを進め、都会と田舎の住民とが交流を深めるなかで、田舎の存在意義や価値を共に理解し共有できることを目指しています。

### ★こんにやく作り体験★

地元の皆さんが講師となり4班に分かれて、作業を行いました。事前に茹でて一口大にしたこんにやくと炭酸ソーダをミキサーにかけ、かき混ぜたあと、大きな鍋で加熱する工程を体験しました。出来上がったこんにやくは、茹でてそのまま刺身にして昼食に美味しくいただきました。



▲ソーダの容量を測って混ぜ合わせます

### こんにやく作り体験

当日は、朝早く広島からバスで出発し、約三時間かけて『子ご美の里』(山口町)へ到着しました。  
竹腰市長の歓迎のことがばの後、早速、班に分かれて「こんにやく作り」に入りました。



▲大きな鍋で茹でる作業は大変です

参加者のほとんどは、こんにやくのことが、どんな風に作られていくのかわからないばかりでしたが、混ぜる作業から丸める作業、大きな鍋で茹でる作業を地元の人と一緒に楽しく料理をしていました。



▲混ぜるには、結構力もいるみたいです

### 昼食交流での盛り

午前中の作業の合間には、近くの山を散策しながら山菜採りをしたり、のんびりと散歩をする人の姿も見受けられました。  
そして、待ちに待った昼食の時間です。採れたてのたけのこやふき、しいたけなど地元の自然の恵みを美味しくいただき、炊き込みご飯のおかわりをする人もいました。



▲本格的な踊りにご満悦の皆さん

露があり、参加者もこのサプライズに大感激で、拍手を贈っていました。

### 田植え体験に感動!

また、休憩時間には、地元の方から「どじょうすくい踊り」や「安来節」の披露

続いて、午後の部の「田植え体験」です。地元の方が、5時

の田んぼに苗の植え付け位置の線引き(当地では、「ばば引き」といいます。)をしてくれた場所に植え付けていきます。

田んぼの中に入る人は、日焼け予防の帽子や手ぬぐいを羽織ったり、短パン姿に着替えたり、様々な格好です。

農家の皆さんの手ほどきを受けて、苗を手に恐る恐る田んぼの中へ。「ワー!」という歓声や「気持ちいい!」という声が上がると、田植えに汗を流しました。

この日は、天候も良く、田んぼの湯加減?は最高!中



▲恐る恐る田んぼの中へ入ります

### またの体験を楽しみに

一日の時間が過ぎるのは早く、田植え後の手足の汚れを流しながら、「こんな体験が出来てよかった」と感動する人。用意した露天風呂(五右衛門風呂)に入り汗を流す人もいたり、帰宅の準備です。

次回は、秋に予定をしていますので、興味のある方はご参加ください。

最後には、地元の皆さんも一緒に集合して、参加者の皆さんとお茶を飲みながら、一日の体験談を聞きました。

一様に参加者の皆さんは、「来てよかった!」、「今日は、癒された!」という感想でした。

大田市では、今後もこのような取り組みを計画



田植えの状況とその一コマです

【問い合わせ】大田市役所まちづくり推進課 ☎ 0854-82-1600 (内線211)